

精神疾患死後脳ブレインバンクへの留学経験

楊 巧会^{1)*}

1) 福島県立医科大学神経精神医学講座

*Correspondence: 960-1295 福島市光が丘 1 番地(福島県立医科大学)



中国の大連駅 (編集部注釈: 左の男性は著者ではありません)



東京の上野駅

私は中国の大連の出身です。写真は大連駅と東京の上野駅です。似ているでしょう。同じ日本人のデザインだそうです。

私は 5 年前に福島県立医科大学に参りまして、死後脳研究を始めました。小西吉裕先生とお会いしたのは 2 年前のことです。Brain bank の関係で小西先生が福島県立医科大学にいらっしゃった時に、死後脳研究を勉強している私は思いがけずに先生と出会うことができました。私と同様に留学経験を持つ方でしたので、大学から福島駅まで、バスでの移動中、研究や留学生活のこと、日本や中国のこと、アジアやアメリカのことなど、いろいろなお話が出来ました。

その後何回もメールをしているうちに、貴病院の学術雑誌への執筆を勧められ、少し不安でしたが、とてもうれしく思いました。自分の日本語は、まだ皆様にお読みいただくレベルではないと思いますが、指導教官の丹羽教授に相談したところ、ぜひブレインバンクのことを紹介してくださいと言われました。私はブレインバンクの創始者でもありませんし、事務員でもないし、皆様に教えるほどの経験もありません。でも折角のチャンス

なので、留学生の立場から、日本に留学している間に学んだことや将来の夢について、皆さんにお伝えしたいと思います。

「外の世界を見てごらん、あなたが変わるよ」と、アメリカに滞在経験のある叔母に勧められ、大学卒業後、私は私費で留学することを決めました。

日本 —— 綺麗！！

私にとっての初めての外国、それが日本です。バスで成田空港から市内に移動して、目に入ったのはとても綺麗な街、まるでシャワーを浴びたばかりの女の子みたいです。道は狭いですが、中国と違って混雑していません。自転車も車も駐車場に並んでいるし、化粧した女性とスーツを着た男性は静かに信号を守って歩道を渡っていました。一戸建ての家の庭には綺麗な花が飾ってありました。これが私の日本の第一印象です。

ブレインバンク —— 素晴らしい！！

福島県立医科大学のブレインバンクのことは、母校大連医科大学の孫月吉先生に紹介していた